

令和2年度

地域包括ケアシステムにおける 自治体と企業の連携促進セミナー



健康寿命の延伸、生涯現役社会の実現に向けては、公的保険と公的保険外サービスの両輪によるサービスの提供と活用が不可欠であり、地域包括ケアシステムの推進と地域の実情に合わせた適切な民間サービスの選択が重要です。

本セミナーでは、企業、自治体の皆様を対象に医療現場・システム双方に精通する、名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センター 杉下 明隆氏を講師にお迎えしてお話いただきますとともに、この地域における連携事例を紹介します。

参加
無料

日時

令和3年3月5日(金) 14:00 ~ 16:30

方法

オンライン (Cisco Webex Meetings)

定員

200名 (先着順)

対象

地域包括ケアに携わる自治体関係者及び民間企業の方

● 基調講演

「地域包括ケアシステムの推進に向けて ～共創から共生への展望～」

／ 杉下 明隆 氏 (名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・
臨床研究支援センター システム情報室長 病院助教)

● 事例紹介 (自治体、企業との連携による地域課題解決)



1. 自治体の取組事例

- (1) 静岡県袋井市 総合健康センター地域包括ケア推進課 高橋 史 氏
『袋井市における企業連携の取組「通いの場×移動直売」』
- (2) 愛知県瀬戸市 健康福祉部 高齢者福祉課 管理栄養士 伊藤 里穂 氏
『瀬戸らしい介護予防～“三方よし”の企業連携を目指して～』

2. 企業の取組事例

- (1) (株)アクトス 健康事業推進部 部長 磯村 信雄 氏
『オフィスでも！運動嫌いでも！楽しめる健康作り支援します』
- (2) (株) ベンリーコーポレーション 営業企画部 シニアマネージャー 塩沢 護 氏
『どんな時もYesで 地域で暮らす安心をトータルサポート』
- (3) (株) デザインケア 代表取締役 看護師 藤野 泰平 氏
『最高のケアで生きる希望と安心を届ける
～日本中どこでも最高のケアが受けられる社会を目指して～』

内容

主催

厚生労働省東海北陸厚生局、経済産業省中部経済産業局

基調講演 登壇者



杉下 明隆 氏 (すぎした あきたか)

名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部

先端医療・臨床研究支援センター

システム情報室長・病院助教

医療情報技師。愛知県名古屋生まれ。

医療情報システム会社の取締役を歴任し、2006年には名古屋大学発のNPO法人東海ネット医療フォーラム・NPOに主席研究員・システムマネージャーとして参画。経済産業省・総務省の事業を通して、主に急性期病院間で医療情報を共有する医療情報ネットワークNewMeLCを構築し35医療機関を結んだEMR(Electronic Medical Record)を確立した。

2013年に名古屋大学医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センターに入職。2014年同センター・システム情報室長、2015年に現職を経て、介護を含む福祉分野に展開し、地域包括ケアに係る専門職が使用するツール「電子@連絡帳」を開発した。この「電子@連絡帳」は、愛知県内を中心とした約60の地方自治体に普及し、地域主体のEHR(Electronic Health Record)のあり方を示した。また、患者やその家族が使用するツール「電子@支援手帳」も開発し、PHR(Personal Health Record)の先駆けとなった。

その後、2016年4月から名大病院が推進する高齢者向け健康医療信託事業の仕組みとして健康医療信託(R)システムを開発し、電子@連絡帳などを包括したNU-Medライフケアエコシステムを事業化した。また、産官学連携体制として2017年に名大病院発NPOの特定非営利活動法人NU-Medイニシアティブ、2018年に名大病院発ベンチャーのNU-Medライフケアシステムズ株式会社をそれぞれ設立し、前者で副理事長、後者で代表取締役副社長に就任した。

直近では、臨床研究中核病院における医療系ベンチャー育成支援担当や、東京藝術大学COI拠点インクルーシブアーツ研究グループリーダーを務めるなど、地域医療連携や地域包括ケアにおける分野横断的な活動を行なっている。

登壇企業

(株) アクトス

スポーツクラブ事業、フィットネス事業のほか、自治体・健康保険組合・企業に向けたヘルスケア事業等を「全ての人々を健康で幸せにしたい」というコンセプトのもと全国に展開。

ヘルスケア事業では、本業で培ったノウハウを活かしつつ、日常にすぐに取り入れられる簡単オフィスプログラムによる出張教室を提案、実施するなど、相手のニーズに合わせた運動サービスを提供している。

(株) ベンリー コーポレーション

すべてのお客様のどんな要望にも“ Yes”とお答えし、確かな技術を持ち、日常の中の困り事を解決するをモットーに、「生活支援サービス」を全国展開。日本中、どこに行っても安心して暮らしていける地域社会を目指し、志を同じくする加盟店と協力して展開。直営店では地元社会福祉協議会等と連携し、個人のみならず地域の困り事の解決を目指し、新たな取り組みにチャレンジしている。

(株) デザインケア

訪問看護事業、看護師同行サービス「みんなの夢たび」等を提供。

自身がよりよい環境で働き輝くことで最高のケアを実践し、より良い地域をつくるとの考えの下、日本中どこにいても最高のケアを受けられる社会インフラとしての訪問看護ステーションを目指す。

地域の病院や支援センター等とも連携しながら、認知症ケアのプロジェクトを提案するなど、地域づくりに取り組んでいる。

以下のメール宛て下記内容についてお申込みください。

東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課あて電子メール

申込先

(事前申込制)

tkkousei165@mhlw.go.jp

※申込みをされた方へは、セミナー参加のためのURLをメールで送付する予定です。

件名に「自治体と企業の連携促進セミナー申し込み」

本文に、機関名、所属、役職、氏名、連絡先

(電話番号、メールアドレス)をご記載ください。

申込期限：令和3年2月25日(木)

URL：https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/tokaihokuriku/chikihoukatsu_care/renkeitorikumi2.html



地域の課題の解決に
企業、自治体いっしょ
になって取り組んでいき
ませんか。ご参加お待ち
しております！

「東海北陸厚生局
自治体と企業の
連携促進セミナー」

で検索！



もしくは
QRコード

申込

【問い合わせ先】

厚生労働省 東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課

住所 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館3階

電話 052-959-2847 F A X 052-959-2848

メール tkkousei165@mhlw.go.jp